

備前市事務事業評価表

事務事業名	老人福祉施設管理運営事業（吉永）		コード	02-01-04-06
			担当課・係	吉永総合支所市民福祉課福祉係
事業実施期間	昭和44年～		担当者	吉田 修
			電話	(0869) 84 - 2518
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目(施策)	高齢者福祉		

事業について	
目的 (何のために)	高齢者福祉の増進を図り、生きがいを持って生活できる社会の構築を目指す。
対象 (誰・何を対象に)	おおむね65歳以上の高齢者
内容	老人憩いの家龍泉荘の管理、デイサービスセンターしらめ荘の（福）社会福祉協議会への指定管理委託を行っている。また、特別養護老人ホーム建設費の借入償還助成、養護老人ホームの事業負担を行っている。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
老人憩いの家会館日数	244 日	245 日	
老人憩いの家利用日数	100 日	103 日	
特別養護老人ホーム助成金	19,569,750 円	15,993,340 円	
養護老人ホーム助成金	6,426,836 円	5,783,576 円	
デイサービス指定管理料等	60,984 円	65,245 円	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	26,211	間接補助金等		直接事業費	21,979	間接補助金等		直接事業費		間接補助金等	
	人件費	2,630	受益者負担		人件費	1,870	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債				市債		
	合計	28,841	一般財源等	28,841	合計	23,849	一般財源等	23,849	合計	0	一般財源等	0

結果指標	必要人員	0.25 人	0.20 人	
	結果指標名	老人憩いの家開館日数		
	結果指標量	244	245	
	単位	日	日	
	対前年比	-	100.41%	0.00%
	活動にかかるコスト	153,430 円	136,907 円	
	単位当たりコスト	629 円	559 円	

結果指標	結果指標名	老人憩いの家利用日数		
	結果指標量	100	103	
	単位	日	日	
	対前年比	-	103.00%	0.00%
	活動にかかるコスト	153,430 円	136,907 円	
	単位当たりコスト	1,534 円	1,329 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	高齢者が、老人憩いの家の利用を通して健康を増進し、人的交流の活性化を目指す。		
成果指標名	年間利用率	式又は説明	老人憩いの家利用日数 / 老人憩いの家会館日数
	17年度	18年度	
成果指標量	41.0%	42.0%	
対前年比	-	102.44%	0.00%
到達目標値	50.0%	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等： 備前市老人憩いの家龍泉荘設置条例	妥当性評価 < A ~ E > C 課題認識
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	高齢者福祉の増進を図ることを目的とした事業である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 < A ~ E > C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	特別養護老人ホームの建設費借入助成は、平成26年度完済となっており、完済後は（福）吉永福祉会が責任を持って運営し、市からの助成はしないこととなっている。また、養護老人ホームの借入助成は平成32年度完済となっている。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映しやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 < A ~ E > C 課題認識
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	老人憩いの家利用率は、新しい事業に使用するなど向上すると思われる。

平成19年度の状況		説明 老人憩いの家の管理業務は従前どおり行う。
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 閉館日数の1/2以上の利用	結果指標量 50.0%

総合評価	老人憩いの家については、老人クラブ事業・介護予防教室などでの利用を充実し成果指標量達成に努める。	評価区分 < A ~ E >
------	--	-------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	利用啓発	20年度中	利用日数の増加